

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	折井 忠明
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3413
事務事業名	4163 遊休農地解消対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	事業	050000 遊休農地解消対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
農産物の価格低迷、農業者の高齢化及び減少、鳥獣害等のため増加している遊休農地の解消及び拡大防止を図る。						補助金を交付し、遊休農地の解消、拡大防止を図った。 中山間地域において集落協定を結び、農地の維持を図った。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
遊休農地解消面積 53,495㎡ 中山間集落協定面積 272,808㎡	遊休農地解消面積 30,645㎡ 中山間集落協定面積 272,808㎡
平成29年度 予定	平成30年度 予定
遊休農地解消面積 50,000㎡ 中山間集落協定面積 274,455㎡	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名 支援制度を活用した耕作放棄地解消面積						
算式						単位 ha
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	42	47	52	57	62
	実績	48.3				
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		7,132	8,791
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	3,373	3,444
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,759	5,347
人員数(人)	正規職員	0.6	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,331.4	2,887.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,331.4	2,887.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,463.4	11,678.6

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	14	消耗品 8 燃料費 6
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,109	地域農政特別対策負担金(市民農園負担金) 200 中山間地域直接支払交付金 4,482 遊休農地解消対策事業補助金 2,427
その他	9	通信運搬費(郵便料) 9

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	25	消耗品費15 燃料費10
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8,751	地域農政特別対策負担金（市民農園負担金） 200 遊休農地解消対策事業補助金 4,000 中山間地域直接支払交付金 4,551
その他	15	通信運搬費（郵便料） 15

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	須坂市の農地確保の面からも遊休農地が多い中山間地等を中心とした農地維持は必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	遊休農地の増加は抑えられている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	個人ではなく集落での農地維持や利用集積による農地の集約化等推進できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

引き続き遊休農地の解消及び拡大防止を図る。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

遊休農地解消には、事業の継続が必要である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

毎年の取組の成果により遊休農地解消が図られている。
継続した取組みが求められる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--